

2022年4月13日

各位

日本ゼオン、カーボンニュートラルを目指したエネルギー転換を開始  
～国内4事業所で購入電力の100%再生可能エネルギー化をはじめとする具体策を実行～

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（社長：田中 公章 以下、当社）は、4月1日より国内生産拠点のうち4事業所（高岡工場・氷見二上工場・敦賀工場・徳山工場）において購入電力のすべてを100%再生可能エネルギー電力<sup>※1</sup>に転換しました。加えて、高岡工場ではCO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロのカーボンニュートラルLNGの購入を契約し、徳山工場では蒸気のCO<sub>2</sub>排出量削減のためグリーン熱証書の購入を契約しました。これらの取組みにより、4事業所におけるCO<sub>2</sub>年間排出量は2019年との比較で約8万トンの削減を見込んでおり、当社のカーボンニュートラルへの取組みは今後も加速していきます。

当社では2021年度よりスタートした中期経営計画において、全社戦略として『カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する』を掲げています。その重要な施策の1つがエネルギー転換であり、各生産拠点のエネルギーの生成元であるボイラ等の燃料を、再生可能エネルギーや証書付の燃料<sup>※2</sup>に転換する検討を進めてきました。

今回、北陸地域の3事業所（高岡工場・氷見二上工場・敦賀工場）では、使用電力のすべてを北陸電力株式会社の提供プラン（かがやきGREEN RE100）導入によって、水力発電を活用した再生可能証書付きエネルギーへ転換いたしました。加えて、高岡工場が契約したカーボンニュートラルLNG（液化天然ガス）は、北陸電力グループにおいて一般企業<sup>※3</sup>としては当社・高岡工場が初めての契約事例となりました。

また、徳山工場では、使用電力のすべてを中国電力株式会社の提供プラン（再エネ特約）導入で再生可能エネルギーへの転換を図るとともに、蒸気についても日本自然エネルギー株式会社よりグリーン熱証書<sup>※4</sup>を購入することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。

【4月1日よりエネルギー転換した事業所一覧】

所在地	事業所名	主要製品	エネルギー転換内容
富山県高岡市	高岡工場	合成ゴム 電子材料	・購入電力を100%再生可能エネルギー化 ・カーボンニュートラルLNGを購入
富山県氷見市	氷見二上工場	光学フィルム	・購入電力を100%再生可能エネルギー化
福井県敦賀市	敦賀工場	光学フィルム	・購入電力を100%再生可能エネルギー化
山口県周南市	徳山工場	合成ゴム・合成ラテックス 重合法トナー・単層CNT	・購入電力を100%再生可能エネルギー化 ・蒸気についてはグリーン熱証書を購入

なお、国内の他の生産拠点についても再生可能エネルギーへの転換を検討中であり、川崎工場（神奈川県川崎市）でも今年8月にエネルギー転換を予定しています。当社は、引き続き安定・安全操業に努めながらカーボンニュートラルに対して積極的に取組み、「持続可能な地球」と「安心で快適な人々の暮らし」に貢献してまいります。

以上

※1：再生可能エネルギー電力

水力・太陽光・風力等の再生可能エネルギー電源由来の電力

※2：証書付きの燃料

採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO<sub>2</sub> クレジットで相殺することにより、地球規模では、この燃料を使用してもCO<sub>2</sub>が発生しないとみなされます（当社ではカーボンニュートラル LNG が相当）

※3：都市ガス事業者以外の一般企業

※4：グリーン熱証書

「自然エネルギー」によって生成されたグリーン熱の環境付加価値を証書として具現化したもので、購入することによりグリーン熱を使用したとみなされます。証書の購入費用は、自然エネルギー事業の維持・拡大等に利用され、自然エネルギーの普及に貢献します。証書は信頼性を確保するため、第三者認証機関の認証を得て発行されます

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話：03-3216-2747